



えさか通信 7月号

2025年

4～6月の実績と7～9月の展望

6月26日に運営会議を開催し、スタートから大幅な赤字となっている状況について、原因の整理と今後の挽回に向けた話し合いを行いました。

新規利用者の目標は達成できましたが、内4名は近隣の医療機関や相談支援事業所からの紹介でした。月平均の利用者数は、目標より1.6名下回り、6月単月では-2.9名という結果でした。登録利用者数は増えているにもかかわらず、実利用者が伸びていない原因として、「通所困難な方への働きかけ不足」や「見学相談会後のフォローの弱さ」が挙げられました。今後の対策としては、①見学相談会に来た方への継続的な連絡、②通所が難しい方への訪問支援、③週3日以上に通所を目指した個別の支援、を重点的に行うこととしました。

また、地域との連携についても方針の再確認を行いました。当初、管理者には「近隣の医療機関・相談支援事業所への訪問」「利用者支援の一環としての訪問活動」などが期待されていましたが、実際には活動の中心が事業所の即応的な運営や支援とは異なる内容となっており、目的との乖離が課題となりました。

こうした状況の中、6月27日に本人より退職の申し出がありました。これを受け、運営体制の再構築を図るため、6月30日付で管理者および広報責任者の役職を解任し、当面のあいだ、代表が管理者職を兼務しています。今後は管理体制を再整備し、支援・広報・連携の各面で軌道修正を進めてまいります。

本通信の原稿は代表が執筆しましたが、広報業務は新たな担当者が引き継いでいます。ご心配をおかけした方も多いかと思いますが、体制を立て直しながら、7～9月期は安定した支援と運営をめざしていきます。

えさかの相談役 高木のつづやき

今月のテーマ

「社会適応軸」というもう一つの見方

あらゆる人には、ASDみやADHDみという発達特性があると思っている。その人の特性の強さをX軸(ADHD)、Y軸(ASD)の座標で捉えて理解している。そうすると、同じ座標上においても、働ける人と働けない人がいることに気づく。また、発達特性自体がそこまで強いわけではないのに働けない人がいることもあって、働けるか否かは発達特性の強さ(X軸やY軸の座標)で決まるのではなく、別の軸の数値で決まると解釈した。それをえさかでは「社会適応軸」と呼んでZ軸でみている。

同じ座標にいても社会適応軸(Z軸)がプラスになってる人は働けるし、マイナスになっていたら働けないとすると、Z軸の土を決める要素は何なのかと考えたくなるが、一概に項目化できる訳でもなく、色んな要素が絡んで土が決まるんだと思っている。「社会適応するための力の総和」と考えてみるとわかりやすいかも知れない。

えさかでは、合理的配慮をしてX軸、Y軸の座標を変えることで働けるようになってほしい訳ではなく、Z軸「社会適応軸」を訓練で伸ばすことで働けるようになってほしいと思っている。それが本当の意味で「障害の有無に関係なく働く」ことなんだと思う。

そのために「社会人基礎力」や「職業準備性ピラミッド」の土台からの積み上げを重視している。

市役所職員から民間IT企業を経て独立。学生時代から数学やプログラミングに長け、抜け漏れのない仮説の立案と検証が得意。悩みや疑問に対する美しく切れ味の良い回答が人気で、救いの一手として、また人生の訓戒として多くの利用者の胸に届いている。

管理者 高木 学



えさかの訓練体験記

生活と仕事は繋がっている！

こんにちは、支援員の森田です。

えさかで働き始めて、自分では気づかずにやってしまったことがありました。それは、生活の仕方に繋がると聞き、皆さんにおすそ分けしたいと思います！

ある日、私はコピーをするためにコピー機の扉を開けました。コピーが無事に終わり、作業の続きをしていました。その数十分後に、宮崎さんに呼ばれました。呼び出された理由はコピー機の扉を開けたままだったからでした。使ったなら直すのが当たり前のはずが、私は出来ていませんでした。そして、その後日も同じことをしてしまったのです！

なぜ、こうになってしまうのかという生活の場面で片付けるという習慣が身についていないからでした。

実は私は、家でも整理整頓が出来ておらず、買った物の住所を決められずそのままにしまったり、出したものを片づけられなかったりします。高木さんや宮崎さんから「生活の時点で整理整頓できていないと、仕事でも整理整頓できないもんだよ」と教わりました。生活の土台あってこそ、仕事に通ずるのだと痛感しました。

今は、改善するために生活から整えていこうと決めて、まずは棚を買い、物を整理整頓して、仕事でも整理整頓ができるようにするために準備をしています。ゆくゆくは、整える習慣を身につけていきたいと考えています！

そして、生活を整えた先に、どう仕事に影響するか検証してみたいと思います！

この記事を書いたのは…

生活支援員 **森田 杏菜**

元利用者で、現在はスーパーで働きながら、支援員見習いとして日々奮闘中。自分の「お腹の声」を大事にコツコツと積み重ねて成長中。



「イヤ」に従わないことで…

私は中学生のとき、不登校でした。

そのため、高校進学に対しては「行きたくない」という気持ちばかりが募っていました。

それでも、周囲の人たちが支えてくれ、私自身も「このままではいけない」という微かな想いがあったので、高校に進学しました。

しかし……通学はギリギリできていたものの、ストレスで心身ともにボロボロになっていました(食事が全く喉を通らず、1か月半で10キロほど痩せてしまった)。

本当に辛くて仕方なかったのですが、毎日通学を続けるうちに、少しずつ平気になっていきました。

教室の中にいる人たちへの恐怖心などが徐々に無くなっていったんだと思います。

(私が勝手に、周りを敵のように感じていただけで、クラスメイトはそんなことなく…少しずつ誤解が解けていった)結果、不登校だったころの時間を取り戻すかのように、充実した高校生活を送ることができました。

もしあの時、私が「イヤだ」という気持ちを優先して、また引きこもりに逆戻りしていたら……。

もし親や先生が「そんなにイヤなら行かなくていいよ」なんて言っていたら……。

「イヤだ」という感情に従わなくて本当によかったと、心からそう思います。

続きはこちら



この記事を書いたのは…

生活支援員 **森 亜沙美**

中学時代の不登校や不調による退職の経験から次のステップに進むべく、現在は親子課題から振り返りながら自分の幸せについて考えている。



ツイキャスに遊びにきてください！

高木がツイキャスを再開しました！（開所日は支援員も参加するかも）

なんでも相談可能 一緒に考えてみよう！

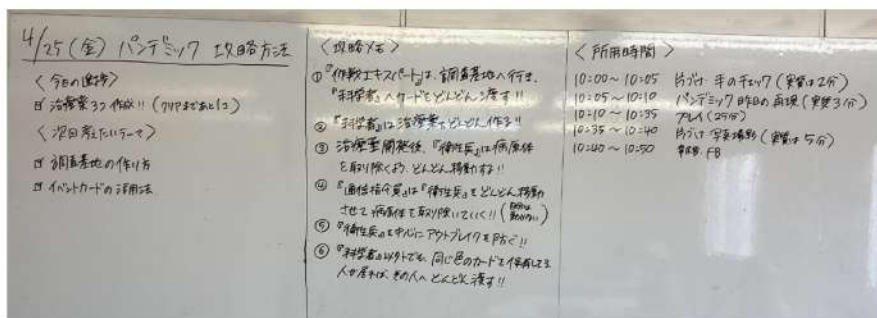
「高木の哲学」を中心にお話しています。

毎週 土曜日 15:00-16:00

高木のXアカウント(@gakutsu)で配信します



ボードゲームの攻略方法を考えよう！



4～5月の実践プログラムでは、ボードゲーム「パンデミック」の攻略方法を考えよう！というテーマに、利用者さん同士で協力して取り組んでももらいました。

話し合いでいろいろなことを決定していったのですが、その中で「私の意見が採用されなかった」「声のでかい人の意見が通ることに納得できない」とモヤモヤする方や、「周りに合わせてしまったり、自分で考えず周りに任せてしまったりしてしまう」という方や、「あの人と話が通じなくてついキツイ言い方になっちゃう」という方などが居て、協力場面での各々の対人課題がしっかりと見えてくるプログラムでした。

実際に上手く協力が出来ず、体調を崩してお休みする方が続出し、「職場で働けなくなった課題を見事に再現することが出来た」という感じでした。

「なぜ自分が働けなくなったのかわからない」という方は、実践プログラムに参加してみると自分の課題が見えてくると思いますので、ぜひ参加してみてください。

そして課題と向き合って、解決する練習をして、どこに行っても長く働ける自分になってもらえたら嬉しいなあと思います。(支援員 前田)

参加した利用者さんの声

「自分より出来そうな人に頼ってしまう」という欠点が出てしまった回でした。次のプログラムでは自分が主体的に進めることが出来るよう意識して取り組んでいます。

訓練や振り返りの内容はXで発信中☆



4/17(木) 11-12 実践PG 振り返り

良かった点、出来たこと

- ① 目標、時間の共有ができた。時間管理もあつたことにした。
- ② 時間を示すカードが、それと違ったのが良かった。
- ③ 突然に時間を示すカードが、それと違ったのが良かった。
- ④ ターゲットを達成できた。
- ⑤ 助け合いの意識が、勝手にあつた。
- ⑥ 少人数で分けて、全員が参加できた。
- ⑦ 上司が入って、それと違ったのが良かった。

- ⑧ 役割を分担して、それぞれが役割をこなすことができた。
- ⑨ 少人数で分けて、全員が参加できた。
- ⑩ 1つ1つ確認して、全員が参加できた。
- ⑪ 全員が参加できた。
- ⑫ 明日の役割分担を決めた。

- ⑬ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ⑭ 他、利用者の役割を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ⑮ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ⑯ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。

- ⑰ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ⑱ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ⑲ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ⑳ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。

- ㉑ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉒ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉓ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉔ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。

- ㉕ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉖ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉗ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉘ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。

- ㉙ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉚ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉛ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。
- ㉜ 順番に上回の指示を、それぞれが役割をこなすことができた。

毎週 見学会を実施しています

全ての回が定員1組の完全個別対応の見学会です

毎月 第1・第3 水曜日 16:30-17:30

毎月 第2・第4 水曜日 10:30-11:30

別日程をご希望の方はご相談ください

こんな方に来てほしい

- ・目先の就職より、長く働ける自分になりたい
- ・仕事だけでなくプライベートの生きづらさもなんとかしたい
- ・他のリワークにも通ったが、イマイチしっくりこなかった

見学会で知れること

- ・えさかの特色／訓練に内容
- ・自分に合った事業所の見つけ方
- ・社会復帰の第一歩とは



7月

2日 16:30-17:30

9日 10:30-11:30

16日 16:30-17:30

23日 10:30-11:30

8月

6日 16:30-17:30

13日 10:30-11:30

20日 16:30-17:30

27日 10:30-11:30

9月

3日 16:30-17:30

10日 10:30-11:30

17日 16:30-17:30

24日 10:30-11:30

集合PGの体験参加ができます

平日 月水金曜日 13:00-15:00

お申込み お電話またはWebサイトまで

06-6190-5413

<https://esaka-esc.jp/contact.html>



Pick up!

ブログ紹介

【えさか体験記】

親子3人でサンドイッチになる理由(ワケ)

2025年6月13日掲載

はじめまして。利用者のやすこです。1年2ヶ月、「えさか」で過ごしてやっと自分が好転してきた実感が出てきました。今回、その好転したきっかけを振り返ることで、私と同じく「子供を産んだことを後悔し、そう思う自分を責めてしまう人」に、高木さんと会って自分のことを話してみようと思うきっかけになればと願っています。

続きはこちら



記事を書ってくれたのは…利用者のやすこさん



2024年4月に入所。4歳児の母。
訓練していく中で、①仕事をする事、②出産/育児の事、③それらを背負った上で生活する事の解像度が低すぎたことを実感し、現在、その解像度を上げる為、日常生活を使って「時間管理」や「合意形成」「言語化」の練習中。

高木の日常



障害福祉サービス 自立訓練(生活訓練)事業所

自立センターえさか

〒564-0051
住所 大阪府吹田市豊津町18-37江坂ビジネスゾーン503

Tel 06-6190-5413

サービス種別：自立訓練(生活訓練) 事業所指定番号：2711601688

対象：市町村の障がい福祉サービスの支給決定を受けた人

利用料：無料または市が定めた金額

期間：暫定利用期間2ヵ月+本利用期間1~22ヵ月

webサイト
esaka-esc.jp

